

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 機械学習を用いた間質性肺炎急性増悪発症と予後の予測モデルの構築に関する情報公開

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤康博

[研究の背景] 間質性肺炎は肺の間質に炎症や線維化病変を起こす疾患の総称であり、国の難病に指定されています。間質性肺炎の急性増悪は短期間で重度の呼吸器症状の悪化を来す原因不明の病態であり、予後不良です。この急性増悪は間質性肺炎において重大なイベントですが、発症を事前に予測することは困難です。

[研究の目的] 機械学習の手法を用いて、将来的な急性増悪発症と予後を予測するツールを開発し、その性能を確認することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007年4月1日から2019年12月31日の間に間質性肺炎と診断された方

●研究期間： 本文書公開から2025年12月31日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、喫煙歴、原疾患、血液検査、画像検査、呼吸機能検査、入院情報等を収集します。

●利用する検体、カルテ情報の管理

収集した情報は定型化された電子データベースに研究者が直接入力し、電子媒体に記録します。電子媒体は特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管され、研究責任者・研究協力者によって解析施設(名古屋大学)に移送され、専門的解析を行います。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

・研究代表者（研究の全体の責任者）：

名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター・医員・古川大記

・その他の共同研究機関：

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学・大学院生・寺町涼

名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター・病院教授・白鳥義宗

名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター・特任助教・大山慎太郎

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学・准教授・橋本直純

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科・病院助教・阪本考司

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所などに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供元である近藤康博が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139